

2020年 3月期  
2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日

## 連結決算の概要

株式会社 **ジェイ・エム・エス**

( 証券コード 7702 )

2020年5月22日

# 業績ハイライト

## ～2020年3月期～

百万円

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	対前期増減率
売上高	58,059	58,569	510	0.9%
営業利益	1,462	2,314	851	58.2%
経常利益	1,520	2,672	1,151	75.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,160	1,977	817	70.5%
1株当たり当期純利益	47円59銭	81円12銭	---	---

為替レート (期中平均)	米ドル	110.91円	108.74円
	ユーロ	130.42円	122.07円
	シンガポールドル	81.69円	79.28円

**～増収増益～**  
(3期連続増収、2期連続増益)

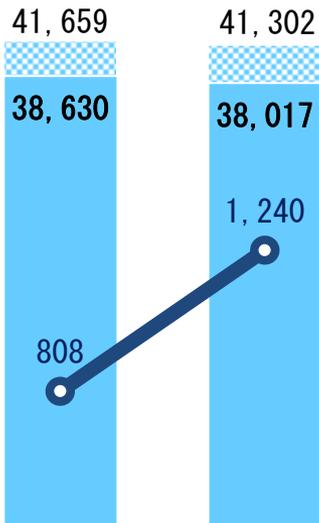
売上	日本	- 血液バッグや薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」が増加 - 血液透析装置が減少	利益	- 増収効果に加え、原価率が低下したことにより営業利益は増加 - 前期に発生した為替差損やたな卸資産廃棄損の計上が、当期はなかったため経常利益は増加
	海外	- 成分献血用回路や血液バッグが増加	配当金	- 年間配当は1株当たり17円を予定、期末配当1円増配 (中間配当8円、期末配当9円)

# セグメント業績 (所在地別、経常利益ベース)

百万円

## 日本

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
0.9%減

セグメント  
利益  
53.5%増

2019年3月期 2020年3月期

### 【売上】

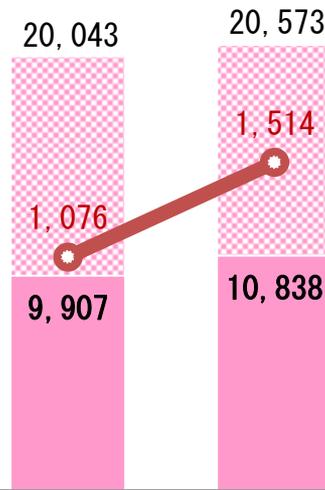
血液バッグや薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」が増加したものの、血液透析装置が減少

### 【利益】

販売費及び一般管理費の減少に加え、子会社からの受取配当金が増えたため増加

## シンガポール

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
2.6%増

セグメント  
利益  
40.6%増

2019年3月期 2020年3月期

### 【売上】

北米向け成分献血用回路や中東向け血液バッグが増加

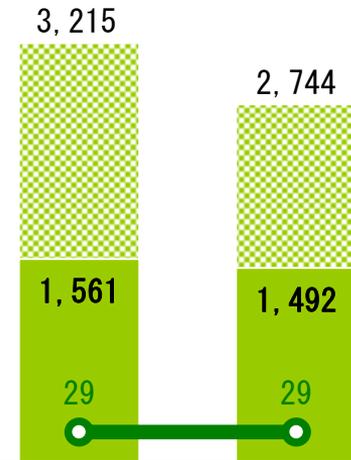
### 【利益】

増収効果に加え、為替が有利に作用したことにより増加

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

## 中国

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
14.6%減

セグメント  
利益  
0.2%減

2019年3月期 2020年3月期

### 【売上】

フィリピンへの生産移管により日本向けの輸液セットが減少

### 【利益】

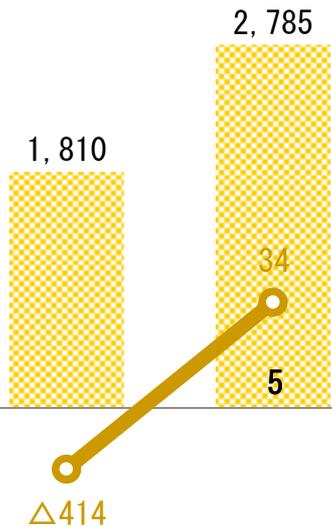
労務費や経費の低減に努めたものの、減収影響により微減

# セグメント業績 (所在地別、経常利益ベース)

百万円

## フィリピン

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
53.8%増

セグメント  
利益  
4億48百万円  
改善

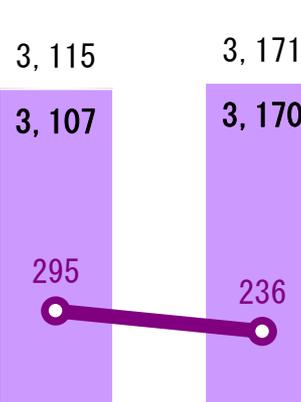
2019年3月期 2020年3月期

【売上】  
日本向けの輸液セットが増加

【利益】  
販売拡大により固定費を吸収したため黒字化

## ドイツ

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
1.8%増

セグメント  
利益  
20.0%減

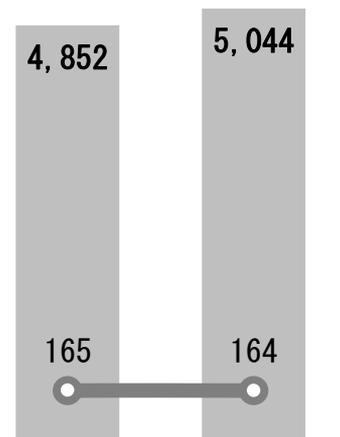
2019年3月期 2020年3月期

【売上】  
血液バッグが増加

【利益】  
為替による外貨建ての仕入取引にかかる原価が増えたため減少

## その他

■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
4.0%増

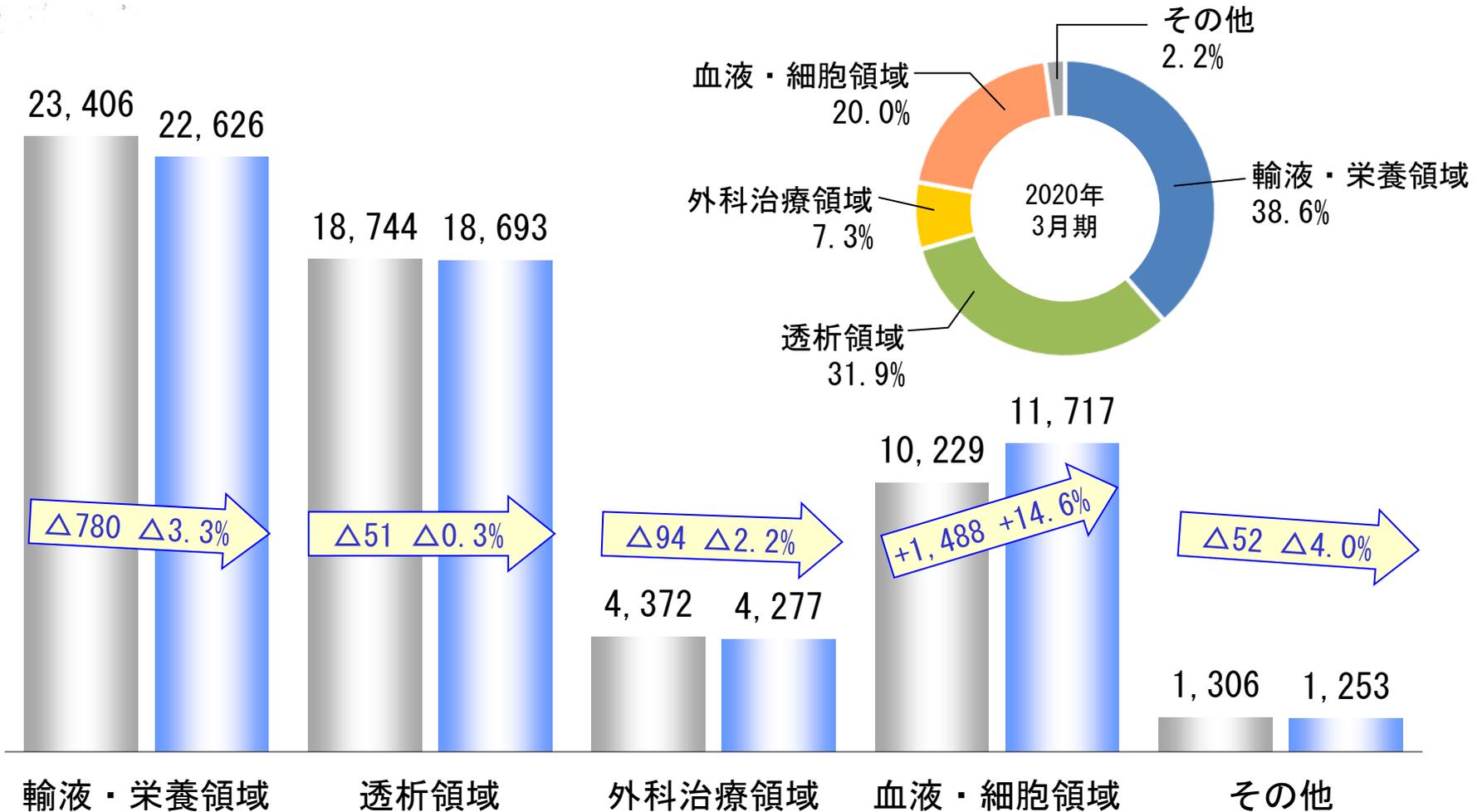
セグメント  
利益  
0.5%減

2019年3月期 2020年3月期

※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

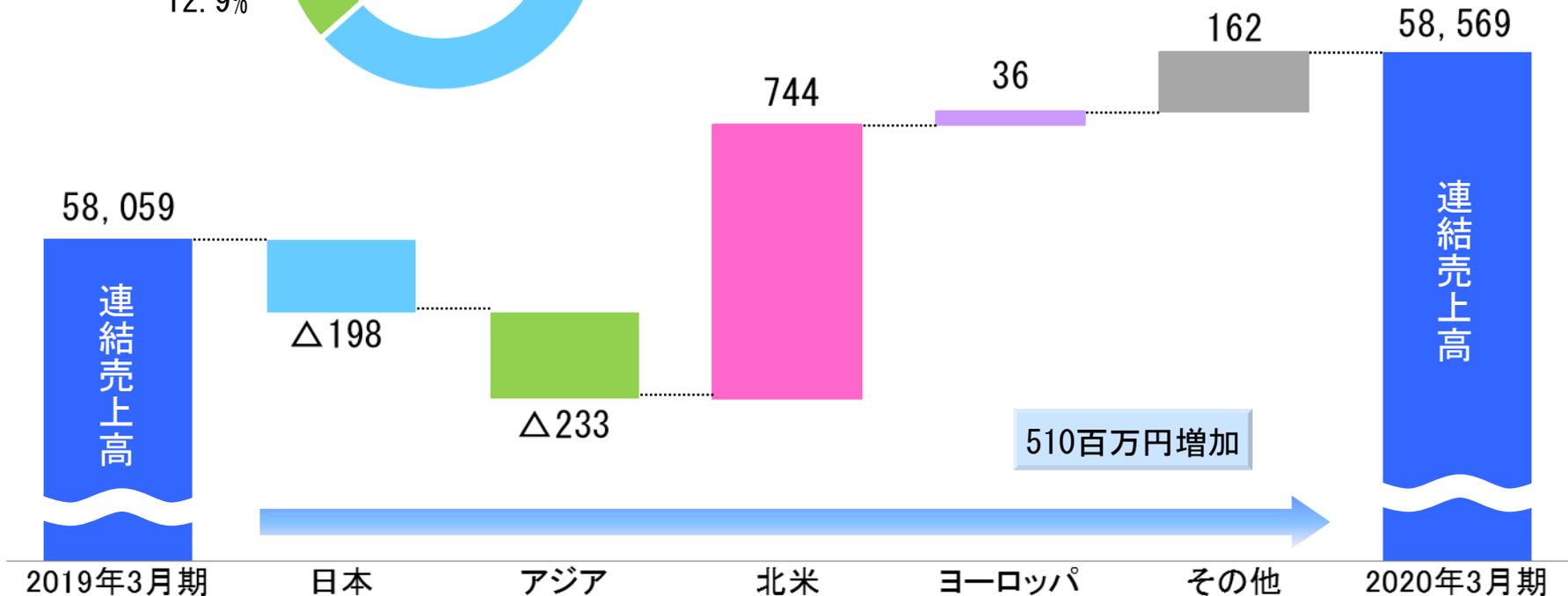
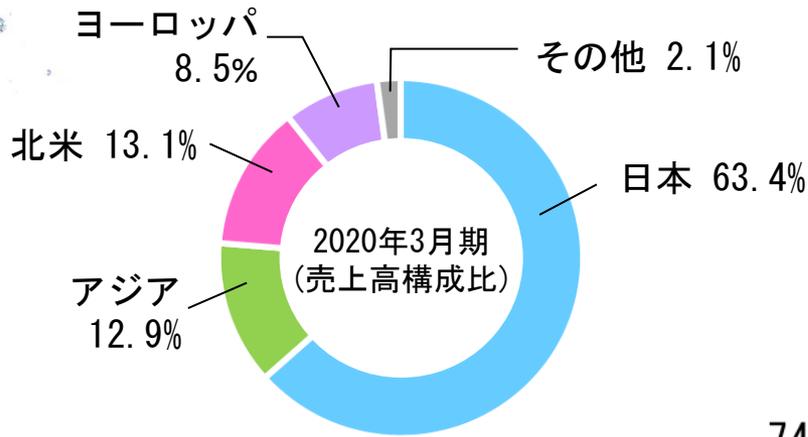
# システム別売上高

■ 2019年3月期    ■ 2020年3月期    百万円



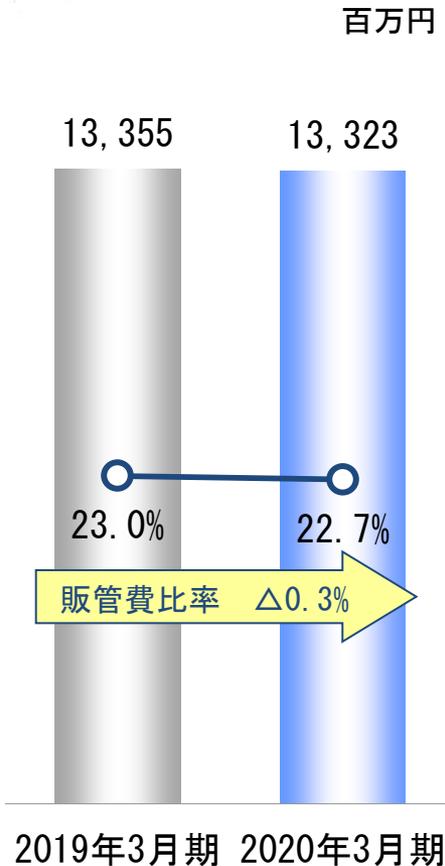
# 売上高増減分析 (顧客所在地別)

百万円



# 販売費及び一般管理費

百万円



2019年3月期 2020年3月期

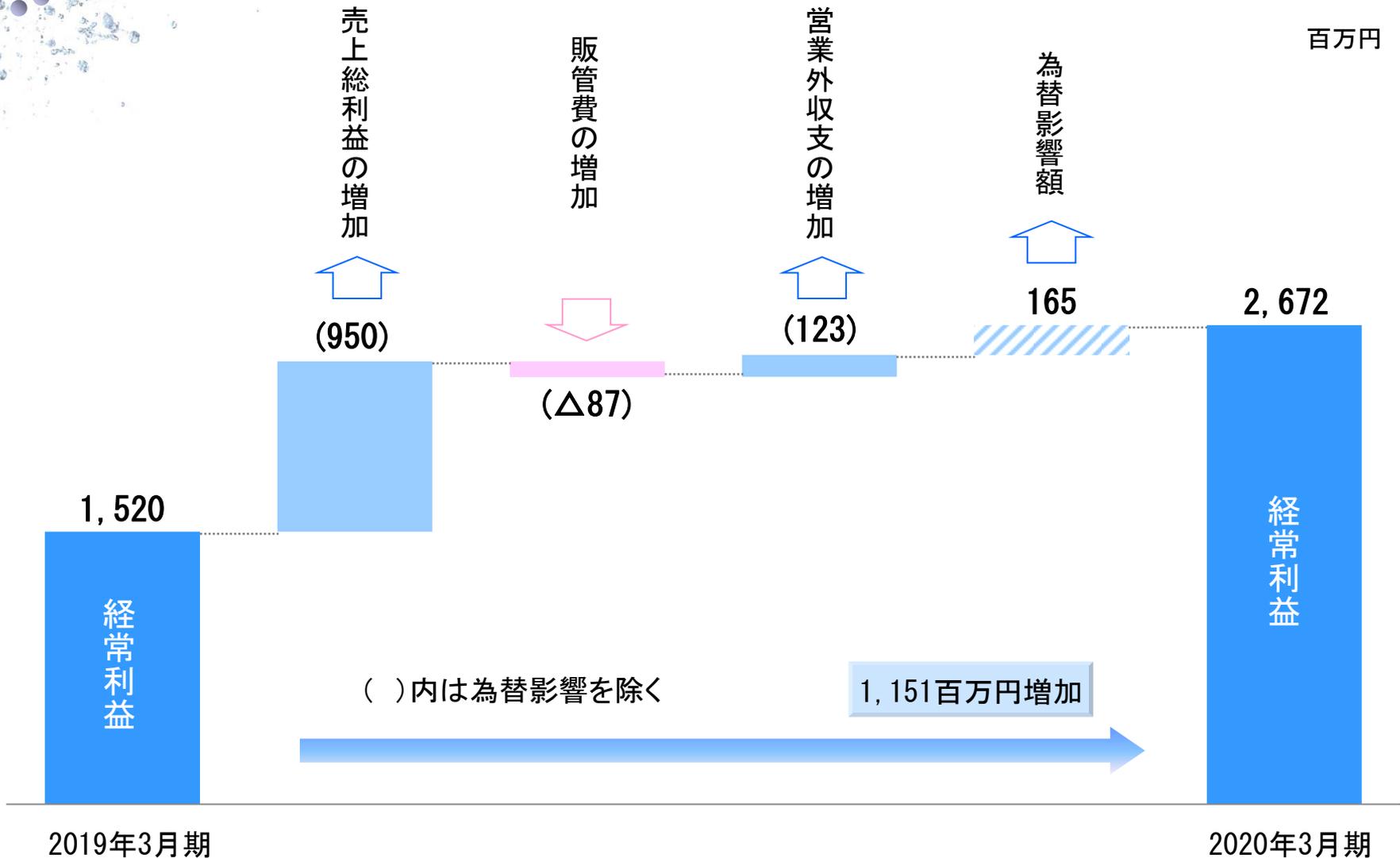
百万円

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減額	対前期 増減率
人件費	5,806	5,798	△8	△0.1%
運送費	1,652	1,715	63	3.8%
研究開発費	1,515	1,417	△98	△6.5%
減価償却費	335	352	17	5.1%
その他	4,045	4,039	△5	△0.1%
計	13,355	13,323	△31	△0.2%

[研究開発費] 治験費用が減少しました。

# 経常利益：前期実績との比較

百万円



# 2021年3月期 通期連結業績予想

百万円

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	対前期 増減率
売上高	58,569	59,500	1.6%
営業利益	2,314	2,000	△13.6%
経常利益	2,672	2,200	△17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,977	1,600	△19.1%
1株当たり 当期純利益	81円12銭	65円62銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	108.74円	108円
ユーロ	122.07円	120円
シンガポールドル	79.28円	78円

現時点で新型コロナウイルスの感染拡大の収束は見通せませんが、本年度末までには収束するものと仮定して上記の業績予想を算出しております。

- 医療機器投資ファンドに参画しました  
2019年11月



2020

健康経営優良法人

Health and productivity

- 経済産業省「健康経営優良法人」に2年連続で認定されました  
2020年3月

- 難治性皮膚潰瘍の治療に保険が適用されました  
この療法に血液成分分離バッグ「セルエイドPタイプ」が使用できます  
2020年4月

